

特別企画：四国地区 紙製品メーカー主要 20 社 業績動向調査（2018 年度）

2018 年度の業績 売上高合計は過去 5 年で最高

～利益額合計は 2 年連続で減少～

はじめに

ネット通販の拡大などで段ボール需要は堅調に推移しているが、電子媒体の利用拡大やペーパーレス化、雑誌・カタログなどの低迷で印刷・情報用紙の需要が減少傾向にある。紙製品メーカーでは、付加価値の高い新素材の開発に注力するほか、業界大手では過剰設備の見直しや固定費削減、生産品種の転換を進める動きがみられる。

今回、帝国データバンク高松支店は、紙製品メーカーの業績動向を探るため、2019 年 9 月末時点の企業概要ファイル「COSMOS2」（147 万社収録）の中から、2014 年度（2014 年 4 月期～2015 年 3 月期）から 2018 年度（2018 年 4 月期～2019 年 3 月期）まで 5 年間の決算の年売上高と利益額が比較可能な、四国地区に本社が所在する紙製品メーカー主要 20 社を抽出し、年売上高別、利益額（当期純利益）別、売上高ランキングについて分析した。

※分析対象は TDB 産業分類・中分類で「パルプ・紙・紙加工品製造業」を主業とする企業で、不織布製品を主に製造している企業は除外した

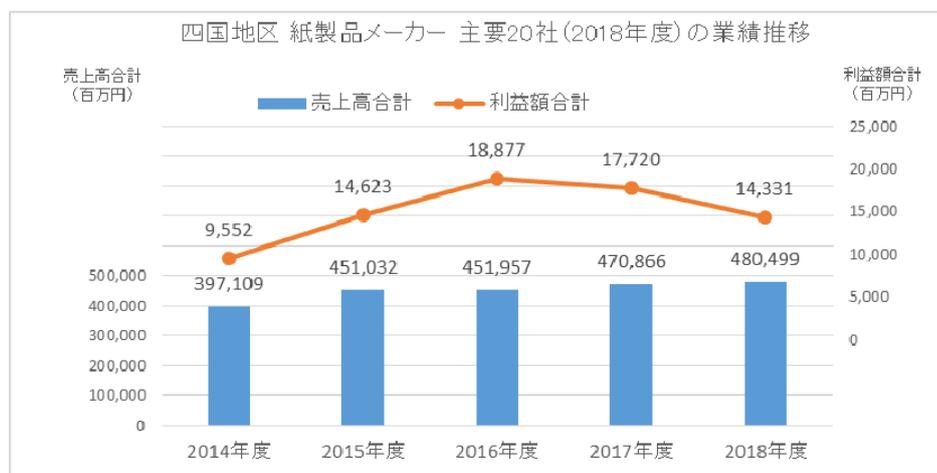
調査結果（要旨）

1. 2018 年度の年売上高合計は 4804 億 9900 万円

前年度と比べて 96 億 3300 万円（2.0%）多く、過去 5 年で最高に

2. 2018 年度の利益額合計は 143 億 3100 万円

前年度と比べて 33 億 8900 万円（19.1%）少なく、2 年連続で減少



1. 売上高推移、過去 5 年で最高

四国地区に本社が所在する紙製品メーカー主要 20 社について、2014 年度～2018 年度決算の年売上高合計をみると、2018 年度は 4804 億 9900 万円となり、前年度と比べて 96 億 3300 万円(2.0%)多く、過去 5 年で最高となった。

主要 20 社の増減収の内訳をみると、増収の社数は前年度から 1 社減の 10 社、減収も 10 社であった。2018 年度の売上高の伸び率トップは、家庭紙や板紙などの製造を行っている愛媛製紙(株)(愛媛県、12.5%増)で、機械設備の改造に伴う生産量の増加が寄与した。次いで、家庭紙の製造を行っている(株)丸和(愛媛県、10.0%増)、紙の断裁加工などを行っているダイオーミルサポート(株)(愛媛県、5.3%増)が続いた。

年度	売上高合計 (百万円)	前年度比 (%)	増減収の社数(前年度比)	
			増収	減収
2014年度	397,109	-6.1	12	8
2015年度	451,032	13.6	16	4
2016年度	451,957	0.2	9	11
2017年度	470,866	4.2	11	9
2018年度	480,499	2.0	10	10

2. 利益額推移、2 年連続で減少

2014 年度～2018 年度決算の利益額合計(当期純利益)をみると、2018 年度は 143 億 3100 万円となり、前年度と比べて 33 億 8900 万円(19.1%)少なく、2 年連続で減少した。

主要 20 社の増減益の内訳をみると、増益の社数は前年度より 2 社多い 8 社となり、減益は 12 社に減少した。増収効果などで増益となった企業があった一方、原材料や物流コスト、人件費の増加などで大幅な減益を余儀なくされた企業がみられた。

年度	利益額合計 (百万円)	前年度比 (%)	増減益の社数(前年度比)	
			増益	減益
2014年度	9,552	-24.8	6	14
2015年度	14,623	53.1	14	6
2016年度	18,877	29.1	12	8
2017年度	17,720	▲ 6.1	6	14
2018年度	14,331	▲ 19.1	8	12

3.まとめ

今回の調査で、四国地区に本社がある紙製品メーカー主要 20 社における 2018 年度の売上高合計は、過去 5 年で最高となった。電子媒体の利用拡大やペーパーレス化による印刷物の減少などで、印刷・情報用紙の需要が減少するなか、ネット通販の拡大による段ボール需要の増加など紙加工品の増加が全体の売上高を押し上げている。今後は、海洋プラスチックごみ問題解決に向けて、紙製品メーカーでは従来プラスチックを利用していただ食品トレーや飲料用容器などの代替製品の開発に取り組み、紙の領域拡大を目指す動きが活発になるものと思われる。

一方で、原材料費や物流コスト、労働力確保に向けた人件費の増加が収益面に影響しており、需要の変化に対応した過剰設備の見直しや生産体制の再構築が課題となっている。原材料の調達コストを大きく左右する為替相場の推移も含めて今後の動向を見守りたい。

<参考>

四国地区 紙製品メーカー 主要20社 2018年度売上高ランキング (単位:百万円)

順位	商号	所在地	年売上高 (2018年度)	前年度比 増減
1	ユニ・チャームプロダクツ 株式会社	香川県	160,409	↑
2	丸住製紙 株式会社	愛媛県	62,995	↓
3	エリエールプロダクト 株式会社	愛媛県	49,654	↓
4	株式会社 リブドゥコーポレーション	愛媛県	46,070	↑
5	愛媛製紙 株式会社	愛媛県	28,270	↑
6	ユニ・チャーム国光ノンウーヴン 株式会社	香川県	19,241	↑
7	大塚包装工業 株式会社	徳島県	15,023	↓
8	ニッポン高度紙工業 株式会社	高知県	13,273	↓
9	阿波製紙 株式会社	徳島県	12,935	↑
10	新タック化成 株式会社	香川県	12,900	↓
11	株式会社 丸和	愛媛県	9,539	↑
12	株式会社 トーヨ	愛媛県	9,186	↓
13	三木特種製紙 株式会社	愛媛県	6,567	↑
14	株式会社 朝日段ボール	香川県	6,121	↑
15	エヌ・アンド・イー 株式会社	徳島県	5,517	↓
16	愛媛小林製薬 株式会社	愛媛県	4,933	↓
17	ダイオーミルサポート 株式会社	愛媛県	4,701	↑
18	七王工業 株式会社	香川県	4,540	↑
19	第一衛材 株式会社	香川県	4,451	↓
20	カクケイ 株式会社	愛媛県	4,174	↓

【 内容に関する問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク 高松支店 担当：須賀原 欣彦、青木 真人

TEL：087-851-1571 FAX：087-851-3837

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。